

ラン学会ニューズレター

1 05・11・16 発行 ランニング学会広報委員会

ランニング学会事務局 〒590-0496 大阪体育大学 体育学部 豊岡研究室

電話 & F A X 0724-53-8848

ランニング学会第18回大会のプログラム準備中

06年3月25日、26日、東京工芸大学にて開催

第1報

ランニング学会大会第3回実行委員会が、10月31日に日本体育協会スポーツ科学研究室で行われました。次回の大会は、新宿からほど近い東京工芸大学中野校舎です。会議では3月25日、26日のプログラムの概要が話し合われ、大会のテーマ、シンポジウムのテーマ、シンポジストの依頼の経過が報告されました。11月中に第4回会議を行い、プログラムを決定して要綱を会員のみなさんに送付するために、急ピッチで準備しています。とり急ぎ皆さんに途中経過をお知らせします。

第1日目(3月25日)

9:00~10:00 前年度学会賞講演および奨励賞講演

10:10~12:10 シンポジウム

12:20~12:50 キーノートレクチャー

13:00~14:30 アミノバリューランニングクラブ・ホノルルマラソンプロジェクト報告

14:40~16:10 シンポジウム

16:20~17:50 シンポジウム

18:00~19:30 懇親会

第2日目(3月26日)

9:00~9:30 キーノートレクチャー

9:30~10:10 第17回大会・優秀研究発表賞

10:20~12:20 一般研究発表

13:10~14:00 総会

14:10~16:10 シンポジウム

キーノートレクチャー決定!!

「長距離ランナーのコンディショニング指標としての免疫

~末梢血 リンパ球・好中球に着目して~」(仮)

松生香里(東北大学大学院)

「フィルムから見た走る世界」(仮)

高山隆一(東京工芸大学)

第 16 回ランニング学会大会の報告

大会実行委員長・鍋倉賢治(筑波大学)

平成 16 年 3 月 20 日(土)、21 日(日)に筑波大学(茨城県つくば市)にて第 16 回ランニング学会大会が開催された。大会概要は下記の通りであった。初めての筑波大学での開催で交通の不便な中、多くの参加者を迎えることができ、実行委員一同感謝の気持ちでいっぱいである。これも、F・ショーター氏招聘の賜物であった。実際、ショーター氏の講演は非常にわかりやすく、実の多い内容であった。また、講演終了後の懇親会、ならびに翌朝のモーニングランにおけるショーター氏の紳士的かつフレンドリーな人柄にふれ、学会員全員が彼の虜になったのではないだろうか。

参加者：147 名 プログラム：特別講演(F・ショーター)
 シンポジウム(日本の中距離走はなぜ躍動しないのか)
 キーノートレクチャー 4 題
 前年度学会賞講演 2 題
 一般研究発表 A 9 題
 一般研究発表 B 16 題
 ランニングクリニック 5 パート 協賛企業・団体等：30 件

大会期間中に実施したアンケートの内容を一部紹介し、大会の報告に代えさせていただきたい。

1) 各企画についてのご意見

クリニック

- ・ 心拍数の測定を初めて経験できて良かった ・ランニングのけがに詳しく、参考になった
- ・ 良いアドバイスをもらいました。もう少しいろいろ話せると良かったなど、個別相談の試みに対して好評価をいただいた。

一般発表 A

- ・ 内容的に物足りないものが何題もあった。選考をもう少しきっちりと
- ・ 「研究の目的と位置づけ」が弱い ・読めないスライド、時間オーバーは自覚欠如、準備不足

一般発表 B

- ・ 1 分(3 分?)のエッセンスならなくても良い
- ・ 対話の広がる B 発表の意義がもっと生かされる運用を

一般発表 A・B とともに、よかった、という評価とあわせて上記のような厳しいご意見も多数いただいた。演題採択の問題、ランニング学会らしい B 発表の活用など、今後も引き続き検討が必要であろう。

特別講演

- ・ フランク・ショーター氏の貴重なお話を聞くことができ、とても勉強になりました
- ・ ランナー(実践者)が科学を育てる・・・名言
- ・ ピークを過ぎてからの取り組み、モチベーション、また彼の人生(アスリートであり、ビジネスマン、オピニオンリーダーとして)の話も聴いてみたい

など、大多数が絶賛する評価であった。一部下記のような指摘もいただいた。課題ですね。

- ・ 質問のマナーが低かった(講演に関した質問でない、一人で 2 問、3 問)
- ・ 「学者はランナーの後追い」を学者はどう受け止める?

キーノートレクチャー

- ・ 大切な脳と運動の関係、参考になった(征矢)
- ・ 障害と予防についての内容、また単にランニングだけでなく脳とか痴呆との関係の話が多く、良かった(白木・征矢)
- ・ 少々哲学的だったが、興味深い話で良かった(山西)
- ・ 自分自身、山岳マラソンに参加した経験があったのでとても面白かった(村越)など多くの評価をいただいた。4 つのキーノートは欲張りか?と実行委一同心配していたが、・・・よかった。

シンポジウム

- ・なぜ中距離に注目しなければ、という観点を持った人が少ないのが最大の課題。陸連の組織上の問題？
- ・自分が中距離をやっていることもあってとても参考になり、重要なポイントばかり聞けて、早速実践したいと思ったなどの評価以外に、時間配分の不適切を指摘するご意見も多かった。反省。

全体を通して

- ・様々な企画があり、楽しめました
- ・ショーターさんのモーニングランや懇親会でのアフターケアやサインなどの人間性に感激しました
- ・初めて参加したのですが、やはり学会という事もあり、素人が参加するには少し敷居が高いかなと感じた
- ・非学会員だが参加して、たくさんの人と出会えてよかった。これからも参加したい
- ・ショーター氏の人気でまとまり、なごやかになり、良い研究が多く、熱心な学生が多く参加したことで、良い大会と思えた

学会は学会員自身の研鑽と情報交換、そして学会員以外への啓蒙、学会への参加の啓発になればいいですね。

2) 今後企画して欲しいテーマ・要望など

- ・現役アスリートの招待
- ・オリンピックの選手選考方法に対する熱い討議
- ・普段走っている人ばかりではなく、現在何も運動していない人、またはやめてしまった人からの意見を踏まえて、「走ること」に対する様々な点に関して会員、参加者で話をする機会
- ・女性とランニングの問題
- ・会員同士のディスカッションの時間、場所
- ・ジュニア期のトレーニング（どこまで追い込んでいいものか）
- ・中学駅伝、高校駅伝、箱根駅伝の功罪、加熱ぶり
- ・海外の特色あるレースの紹介
- ・国内レースの目的と経済事情（黒字レース、赤字レース）
- ・国内のランニングクラブ（サークル）紹介と活動内容
- ・ランナーの喫煙率、禁煙率
- ・外部の論客を招き、もっと活性化を図れば

第16回ランニング学会大会に参加して

筑波大学大学院体育研究科1年 加藤良寛

今回、私は初めてランニング学会に参加させて頂きました。また、今回の大会がつくばで開かれるということで、学生実行委員として運営の方も協力させて頂きました。2日間でしたが今回の学会大会を通して、ランニングに関する幅広い知識や情報を得ることができ、またこのランニング学会を運営されている方々のこの学会に懸ける思いや努力を近くで感じることができ、自分にとっては本当に良い経験になりました。

今回私がこのランニング学会に参加しようと思った理由は、自分の専門競技がトライアスロンなのでランニングに興味があったこと、そしてつくばにあの名ランナーのフランク・ショーター氏が来られるということでその講演を聴くことでした。しかし、実際に参加してみるとショーター氏の講演だけでなく、ランニングクリニック、研究発表、キーノートレクチャー、シンポジウムなど、内容が多彩で充実しており自分の研究や競技に大変参考になりました。また研究者や専門家の方々だけでなく、ランニングに関心のある一般の方々も多く参加されているために、和やかな雰囲気様々人達と気軽に交流することができとても良かったです。

今回、ランニング学会大会に参加して次回からも積極的に参加していきたいと思うとともに、学生実行委員として運営にも協力させて頂いた経験を生かして、これからもこのランニング学会がより充実し、発展していくために自分もできる限り、協力していきたいと思いました。

ランニング学会ホームページ充実！見てください

<http://www.e-running.net/>

ランニング学会ホームページがリニューアルして6月1日に立ち上がりました。随時更新されています。メニューに新着情報、学会大会情報、ランニング学研究、投稿規定、学会入会、ランニング学会会則、BOOK、ランニングクラブ、学会役員、常務理事会、ランニング学会会報、ニュースレター、賛助会員、事務局があります。

また、ランニング学会が主催して大塚製薬（株）協賛で、JALホノルルマラソン・アミノバリューランニングクラブが全国に設立され（7月20日現在43クラブ）、そのクラブの情報通信やホームページのリンクが掲載されています。現在、北海道、和歌山、神奈川、青森、滋賀、京都、南大阪、東京・小金井、茨城がのっています。さらに充実していきますので、見てください。

事務局連絡

第18回大会（06年3月25日、26日、於東京工芸大学）の参加と周りの方を誘っていただけるようお願いします。要綱と申込書が届き次第、早めに申し込んでください。

学会費納入のお願い：事務局からの連絡文書（8月）に郵便局の振込用紙が同封されている方で、まだ振り込まれていなければ、本年度学会費の納入をお願いします。会費は、5000円（院生、学生会員の場合は、3000円）です。

編集後記

広報委員会が発行していた「会報」が2004年2月に24号を発行して以来、途絶えています。ランニング学会の2004年決算が赤字であることが判明し、理事会から「会報の発行を当面休止してほしい」ということで出せずにいました。

広報委員会では、会報でお知らせするはずだった16回大会（筑波大学）のアンケート報告などを遅ればせながら掲載しました。とりあえず、ニュースレターとして発行しましたが、今後どのようにしていくのか、広報委員会で検討したいと思います。

また、17回大会（福岡大学）については、事務局から概要が知らされ、ランニング学研究で内容が今後紹介されます。17回大会の感想、意見をぜひお寄せください。紹介したいと思います。会員みなさんが、どのような発行物を望んでいるのか、会員の交流をどのような形でおこなっていけばいいのか、ご意見をいただきたいと思います。学会大会などで理事や広報委員に気軽に声をかけてください。

広報委員長 鳥井 健次

